

「当院の患者および職員を対象とした新型コロナウイルス感染流行状況に関する観察研究」 第2回調査結果の報告

【研究者】 愛媛大学医学部附属病院感染制御部を中心とする研究チーム

【採血時期】 2020年12月8日

【検査対象者】 外来患者：1000人、当附属病院職員：407人

【抗体測定場所】 愛媛大学医学部附属病院検査部

【抗 SARS-CoV-2 抗体測定】

販売元：Roche 社（スイス）、測定原理：ECLIA 法、測定機器：cobas8000e602、
検出抗体のタイプ：IgM/IgG（同時検出）、使用抗原：N

【判定基準】 Roche 社で陽性（カットオフ以上）であったものは Abbott 社（アメリカ）でも再検し、共に陽性であったのを陽性と判断した。

【結果】 検査陽性者は 外来患者 1000 人中 0 人、当院職員 407 人中 0 人 であった。

【結語】

愛媛県は都市圏でのような大規模な流行はみられなかった。
当院では主に集中治療を担当しているが、それに伴うスタッフの感染はなかった。

【参考】

愛媛大学第1回調査結果（2020年6月）

抗体陽性者は当院職員 743 人中 0 人、外来患者 1000 人中 1 人 全体で 0.057%

2020年12月におこなわれた厚生労働省の調査

都道府県	対象者	抽出方法	検査時期	人数	陽性者	陽性率
東京都	一般住民	無作為	2020/12/14~25	3,399 人	31 人	0.91%
大阪府				2,746 人	16 人	0.58%
宮城県				2,860 人	4 人	0.14%
愛知県				2,960 人	16 人	0.54%
福岡県				3,078 人	6 人	0.19%

* 厚生労働省が実施する抗体保有調査結果（<https://www.mhlw.go.jp/content/000734482.pdf>）より